

第 105 回 電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会
2019 年第 3 回 電気学会 電磁界理論技術委員会
合同委員会議事録

日時：2019 年 11 月 7 日（木）17:40 ～ 19:10

場所：ホテル春慶屋 青陵の間

出席者：

（電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会）

平山 委員長（北見工大），出口 副委員長（同志社大），渡辺 幹事（福工大），鈴木 幹事（首都大），杉坂 幹事補佐（北見工大），飯盛 委員（名古屋大），上田 委員（京都市工繊大），尾崎 委員（日本大），黒木 委員（都立産技高専），後藤 委員（防衛大），阪本 委員（京都大），塩見 委員（大阪大），柴崎 委員（首都大），中嶋 委員（福工大）

（電気学会 電磁界理論技術委員会）

後藤 委員長（防衛大），黒木 幹事（都立産技高専），阪本 幹事（京都大），石田 委員（九産大），尾崎 委員（日本大），杉坂 委員（北見工大），田中 委員（岐阜大），出口 委員（同志社大），松島 委員（熊本大）

議題：

1. 第 104 回電磁界理論研究専門委員会・2019 年第 2 回電磁界理論技術委員会 合同委員会議事録（案）

（電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会）

2. 電子情報通信学会英文論文誌 C 小特集号について
 - 2-1. 2020 年 1 月号について
 - 2-2. 2021 年 4 月号について
3. 2019 年度エレクトロニクスソサイエティ学生奨励賞候補者の推薦について
4. 令和元年度学生優秀発表賞について
5. ソサイエティ大会シンポジウムセッション終了報告
6. 2019-2020 年度電磁界理論研究会活動(報告と計画)
7. 2020 年 7 月の光・電波ワークショップについて
8. 第 49 回電磁界理論シンポジウムについて
9. 2019 年度 EMT 委員会名簿
10. 専門委員の交代について
11. 研究会における茶菓子提供の取り止めについて

（電気学会 電磁界理論技術委員会）

12. 第 127 回 IEEJ-A 部門研究調査運営委員会 議事録（案）
13. 『優秀論文発表賞（基礎・材料・共通部門表彰）』規定
14. 電気学会優秀論文発表賞 A 賞および基礎・材料・共通部門表彰候補者選定基準
15. 令和 2 年度活動資金申請書
16. 令和 2 年 1 月電磁界理論研究会 研究会企画連絡シート
17. 研究会資料電子化に関する検討結果について

共通議題 議事

1. 第104回電磁界理論研究専門委員会議事録の確認

平山委員長より資料No. 104-1に基づき前回議事録の確認があり、承認された。

電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会 議事

2. 電子情報通信学会英文論文誌C小特集号について

2-1. 2020年1月号について

黒木委員より、資料No. 104-2-1に基づき、2020年1月号の通信学会英文論文誌小特集に投稿された5編の論文について、編集委員会の審議に基づく採録・不採録の結果が報告され、異議なく承認された。

2-2. 2021年4月号について

渡辺幹事より、資料No. 104-2-2に基づき、2021年4月号の通信学会英文論文誌小特集のcall for paperについて説明がなされた。また、資料No. 104-2-3に基づき、小特集に投稿された論文の編集方法の変更について提案がなされ、一般投稿よりも論文の投稿から掲載までの時間が長くなる問題に対し、投稿された論文から査読委員を割り当て、査読を開始し、編集委員会（メール審議）で採録を判定するスケジュールについて提案がなされた。このスケジュールの可否について学会にも確認を取っているとの報告もなされた。

投稿された論文から順に、締め切り前から査読委員を登録するためには委嘱状を早く発行してもらう必要があり、発行可能日について学会に問い合わせが必要との意見が挙げられた。

3. 2019年度エレクトロニクスソサイエティ学生奨励賞候補者の推薦について

渡辺幹事より、資料No. 104-3に基づき、エレクトロニクスソサイエティ学生奨励賞対象の4件の発表から審査員による採点結果に基づき、Yasuda Takumi氏を推薦するとの報告がなされた。本議題は異議なく承認された。

4. 令和元年度学生優秀発表賞について

杉坂幹事補佐より、資料No. 104-4-1、No. 104-4-2、No. 2019-ETC3-3に基づき、通信学会の学生優秀発表賞、電気学会の優秀論文発表賞A賞、基礎・材料・共通部門表彰について、候補者選出の流れについて説明がなされた。シンポジウム終了後に実施される2段階の選考について、2019年度の委員・研究会座長へ向けて投票の依頼がなされた。

5. ソサイエティ大会シンポジウムセッション終了報告

渡辺幹事より、資料No. 104-5に基づき、2019年ソサイエティ大会のシンポジウムセッションの報告がなされた。合計で8件の講演が行われ、幹事より感謝の言葉が述べられた。

6. 2019-2020年度電磁界理論研究会活動(報告と計画)

渡辺幹事より、資料No. 104-6に基づき、2019年5月研究会、7月研究会、ソサイエティ大会、11月研究会の発表件数について報告がなされた。続いて以下の計画：2020年1月研究会、総合大会（シンポジウムセッションはなし）、5月研究会（場所は首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス、予約については鈴木幹事が交渉予定）、7月研究会（EMTが主幹）、9月ソサイエティ大会（シンポジウムセッションのテー

マを募集中)、11月研究会、2021年1月研究会(EMT主幹)、3月総合大会(東京工業大学)について報告がなされた。

7. 2020年7月の光・電波ワークショップについて

平山委員長より、資料No. 104-7に基づき、2020年7月の光・電波ワークショップ開催計画について報告がなされた。日程、場所、懇親会については決定、会場は予約済みとの説明がなされた。

8. 第49回電磁界理論シンポジウムについて

鈴木幹事より、資料No. 104-8-1、No. 104-8-2、No. 104-8-3に基づき、開催候補日と候補地について説明がなされた。他の学会・研究会の開催予定と重ならないように考慮し、候補日として2020年11月の1・2週目が提案された。開催地については過去の開催地を考慮し、新潟県越後湯沢温泉、神奈川県箱根湯元温泉の2か所が提案された。紅葉シーズンと時期が重なる場合の会場の費用、台風の被害状況も含めて、引き続き情報収集を続けていく旨が述べられた。

9. 2019年度EMT委員会名簿

渡辺幹事より、資料No. 104-9の2019年度委員会名簿について、阪本委員と柴崎委員のメールアドレスについて訂正されたとの報告がなされた。

10. 専門委員の交代について

平山委員長より、資料No. 104-10に基づき、委嘱年が2012年およびそれ以前の専門委員(木寺委員、上田委員、後藤委員、藤崎委員)の退任について提案がなされた。本議題は異議なく承認された。

11. 研究会における茶菓子提供の取り止めについて

杉坂幹事補佐より、資料No. 104-11に基づき、学会非公認の慣行となっている研究会での茶菓子提供の取り止め、もしくは茶菓子代を参加者から徴収することについて提案がなされた。本議題は通信学会の予算から茶菓子の提供は行わない旨が承認された。

電気学会 電磁界理論技術委員会 議事

12. 第127回IEEJ-A部門研究調査運営委員会 議事録(案)

後藤委員長より、資料No. 2019-ETC3-1に基づき、電気学会研究会資料電子化WGにて研究会資料の電子化に向けて議論が進められていることについて報告がなされた。議事録案については異議なく承認された。

13. 『優秀論文発表賞(基礎・材料・共通部門表彰)』規定

後藤委員長より、資料No. 2019-ETC3-2に基づき、電気学会の優秀論文発表賞(基礎・材料・共通部門表彰)の規程について説明がなされた。受賞枠は研究会の若手発表者の発表件数に応じて調整されており、EMTについては電気学会優秀論文発表賞A賞がおよそ3年に1人、部門表彰が各年1人となっていることが報告された。

14. 電気学会優秀論文発表賞A賞および基礎・材料・共通部門表彰候補者選定基準
電子情報通信学会の議題4と併せて審議された。

15. 令和2年度活動資金申請書
後藤委員長より、資料 No. 2019-ETC3-4 に基づき、電気学会 EMT 活動資金申請について報告がなされた。2020年の第49回電磁界理論シンポジウムにて実施される特別講演の講師謝金の一部に充てる予定である旨の説明がなされた。また、テクニカルツアーなど、2年先の企画が決まっていれば活動資金を申請することも可能であるが、申請時期・期限については2020年3月の電気学会委員会で確認を取る予定であると委員長より述べられた。

16. 令和2年1月電磁界理論研究会 研究会企画連絡シート
黒木幹事より、資料 No. 2019-ETC3-5 に基づき、2020年1月電磁界理論研究会（光関係合同研究会）の計画について報告がなされた。通信学会側と電気学会側で投稿締切日は同日になるように合わせているとの説明もなされた。

17. 研究会資料電子化に関する検討結果について
後藤委員長より、資料 No. 2019-ETC3-6 に基づき、研究会資料の電子化の計画について説明がなされた。年間予約者向けの冊子（紙媒体）は継続すること、予約者への会場での冊子体引き渡しが無くなること、電子化は令和2年4月から実施見込み（遅れる可能性もあり）との説明がなされた。